

桐生人こそ宝。～快疎のまちで輝く人々～

産業と暮らしをつなぎ、夢や未来を語れる、ものづくりをしたい。

桐生を知ったきっかけは？

留学先のイギリスで織物を学んでいたとき、世界的に有名なテキスタイルプランナーの故・新井淳一さんの存在を知り、「一度お会いしてみたい」と訪問したのがきっかけです。1年ほど桐生へ通い、染織など制作の裏側を見せてもらいました。

桐生の魅力はどんなところですか？

地元の人たちに愛され、「自分たちでこのまちを良くしよう」という気概を感じるところ。また、繊維産地としては、創意工夫をこらしたものづくりをされる職人がたくさんおり、その人にしかない得意技があるところが大きな魅力です。

これから桐生でやっていきたいことは？

大学で学んだ人間工学的な使いやすさ、美しいデザインとともに、桐生らしいものづくりを大切にしたいです。刺繍製品を通じて新しい発想や価値を提示しながら、手に取ってくれる人たちに、わくわく・ドキドキを届けたいですね。



かたくらよういち

片倉 洋一さん

神奈川県出身。東海大学で人間工学を学び、ロンドン芸術大学チェルシーカレッジでテキスタイルを専攻。平成17年に帰国し、株式会社笠盛に入社。工学的な思考やテキスタイルの知識を取り入れた、新しい刺繍の表現をアクセサリ製品に活かしている。現在、ブランド「トリプル・オウ」のマネージャーとしてデザインから販売まで幅広く手がけている。



パチリいい顔 桐生っ子

市内に居住する3歳まで（申し込み時）の桐生っ子を募集します。

申し込み = Eメール（miryoku@city.kiryu.lg.jp）にお子さんの氏名（ふりがな）、生年月日、住所、保護者氏名、電話番号を記入し、お子さんの画像データを添付のうえ、魅力発信課（☎内線505・506）へ。



みやかわ すい
宮川 粋ちゃん
9か月
(広沢町三丁目)



さいとう まこと
齋藤 真虎ちゃん
6か月
(宮本町三丁目)



つかごし ひなた
塚越 陽葵ちゃん
9か月
(相生町一丁目)